

職員の給与状況を公表します

亀岡市職員の給与と人数の状況を報告します。
ここでいう給与は、いわゆる「手取り額」ではなく、税金や保険料を差し引く前の額です。



給与などの状況

■人件費の状況(平成22年度普通会計決算)

住民基本台帳人口 (平成23年3月31日現在)	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 B/A	(参考) 21年度の率
92,539人	31,749,866千円	865,473千円	5,199,109千円	16.4%	17.3%

(注)1. 人件費には、職員給与のほか特別職および非常勤職員に支給する報酬なども含まれます。
2. 実質収支とは、形式収支(歳入-歳出)から翌年度への繰り越し金を差し引いた額です。

■初任給の状況(平成23年4月1日現在)

区分	亀岡市	国	
一行政 般職	大学卒	172,200円	172,200円
	高校卒	140,100円	140,100円

■平均年齢・平均給料月額(平成23年4月1日現在)

区分	亀岡市	国	
一行政 般職	平均年齢	44.2歳	42.3歳
	平均給料月額	332,387円	327,205円

■経年数別・学歴別平均給料月額の状況(平成23年4月1日現在)

区分	経験年数10年	経験年数15年	経験年数20年	
一行政 般職	大学卒	264,267円	307,125円	348,300円
	高校卒	214,600円	277,580円	316,550円

■給与の削減措置の状況

区分	削減内容	削減期間	削減効果額
管理職手当削減 (5級以上)	7級 7%減	平成14年4月1日 から当分の間	年間約4,000千円 (平成23年度)
	5級・6級 5%減		



明田 昭 副議長



木曾 利廣 議長

亀岡市議会

議長に木曾利廣議員 副議長に明田昭議員

2月16日、平成24年第1回亀岡市議会臨時会が開かれ、議長・副議長選挙が行われました。その結果、第38代議長に木曾利廣議員(緑風会)が、第47代副議長に明田昭議員(改革かめお)が選出されました。

木曾議長は平成7年に初当選して以来、現在5期目。これまでに、亀岡市議会副議長や議会議長、環境対策特別委員会委員長などを歴任されています。

明田副議長は、平成15年に初当選して以来、現在3期目。これまでに産業常任委員会委員長や議会議長などを歴任されています。

手当の状況

■期末手当・勤勉手当

区分	期末手当	勤勉手当
支給割合 (国と同基準)	2.60月分	1.35月分
1人当たり平均支給額	1,414千円	
・職制上の段階、職務の級等による加算措置(役職加算5~15%)		

(注)支給割合および1人当たり平均支給額は、平成22年度の数値です。

■退職手当

区分	自己都合	勸奨・定年
勤続20年	23.50月分	30.55月分
勤続25年	33.50月分	41.34月分
勤続35年	47.50月分	59.28月分
最高限度額	59.28月分	59.28月分
1人当たり平均支給額	2,221千円	22,900千円
・定年前早期退職特例措置(2~20%加算)・調整額加算措置		

(注)支給割合および1人当たり平均支給額は、平成22年度に退職した職員に支給された平均額です。(国と同基準)

職員の構成など

■部門別職員数の状況と主な増減理由(各年4月1日現在)

部門	区分	職員数		対前年 増減数
		平成22年	平成23年	
一般行政	議事	7	7	△2
	会務	121	119	
	民生	35	35	
	衛生	143	139	△4
	農林水産	52	52	
	商工	33	33	
特別行政	土木	10	12	2
	教育	64	66	2
公営企業等	病院	74	77	3
	水道	106	110	4
	下水道	27	27	
	その他	31	31	
合計		28	27	△1
合計		731	735	4
		[839]	[839]	

(注)1. 一般職の職員(教育長を含む)を対象としています。
2. []内は条例定数の合計です。

■職種別の職員構成(平成23年4月1日現在)

一般職の職員数 (教育長を除く)	一般行政職	技能労務職	その他の職種
734人	418人	7人	309人

(注)1. 一般行政職とは、事務または技術部門の業務に従事している職員のうち、次のいずれにも該当しない職員。
2. 技能労務職とは、給食調理員、用務員、作業員の業務に従事している職員。
3. その他の職種とは、税務職、医療技術職、保健職、福祉職、企業職、教育職。

■一般行政職の級別職員数の状況(平成23年4月1日現在)

区分	標準的な職務内容	職員数	構成比
7級	部長	14人	3.3%
6級	次長・課長	51人	12.2%
5級	副課長	22人	5.3%
4級	係長	119人	28.5%
3級	主任	128人	30.6%
2級	主査	37人	8.9%
1級	主事・主事補	47人	11.2%

(注)1. 亀岡市の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数です。
2. 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務です。

やさしい健康講座 第六十四回

市民の皆さんの健康に関して、今回は市立病院の医師が、専門分野についてアドバイスします。

腰部脊柱管狭窄症

腰部脊柱管狭窄症は加齢により神経の通路である脊柱管が狭くなり、神経の圧迫により下肢のしびれや痛みをきたす病態です。腰部脊柱管狭窄による症状を感じる人の頻度は、70歳以上では30~40%に達すると報告されています。症状は歩行あるいは立位によりお尻・下肢のしびれ、脱力を感じ、腰をおろすことにより改善する、間欠性跛行です。この下肢のしびれは多くの場合、ビリビリ、チク



亀岡市立病院
整形外科主任部長
細川 元男

チク、灼熱感、圧迫感、温かい感じ、冷たい感じなど様々です。具体的には、以前は長距離を歩いても、あしのしびれ、脱力などは感じなかったが、最近は数百メートル歩くと、あしがしびれ、圧迫感があり一度休憩しないと歩けないという症状です。また、この歩ける距離が徐々に短くなってきていたり、シルバーカーを用いて歩行する場合はあしのしびれや痛みがなく歩けたり、歩行時はあしのしびれがあるが自転車にはいくら乗っても大丈夫、のような症状の場合もあります。神経根が障害される場合は下肢の痛みが姿勢に関係なく持続し、腰を伸ばすと痛みが増強します。

以上のような症状を自覚する場合は整形外科を受診し、レントゲン検査、MRI検査を受けることを勧めます。

詳細な内容については、亀岡市ホームページに掲載します。(3月中旬)